

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	糖尿病性腎症におけるメカノセンサーPiezo 1, Piezo 2 の役割の解明に関する横断的研究		
1. 研究の目的と方法	糖尿病性腎症は透析導入の原因として最多であり、腎臓内のろ過装置＝糸球体にかかる力(高血圧など)が病気の進行に重要です。本研究では細胞に力がかかった際に働くメカノセンサーという分子の、糖尿病性腎症における役割を明らかにすることを目的として、糖尿病性腎症患者さんの腎臓の組織でメカノセンサー分子が働いているかどうかを調べます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	「慈恵医大腎生検バイオバンクプロジェクト（承認番号：33-093(10708)）」に登録された患者さんの内、糖尿病性腎症の患者さんで、2021年10月1日～2023年3月31日の間に東京慈恵会医科大学附属病院にて腎生検を受けた20歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	腎生検の時に採取した腎組織の標本	
	(2) 試料の取得の方法	通常の腎生検検査の時に採取した組織の一部をいただきます。	
	(3) 情報の種類	診断名、主な併存疾患、年齢、性別、身長・体重、糖尿病治療の種類、検査結果（血液検査、尿検査）、腎生検組織診断所見。	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座
		氏名	横尾 隆
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 試料・情報の 管理責任 者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 機関とその 責任者	杏林大学医学部 肉眼解剖学教室 教授 長瀬 美樹		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用のIDや番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 試料・情報の利用または提供予定開始日：2023年6月頃～		

【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座 研究責任者：教授 横尾 隆（よこお たかし） 窓口担当者：大庭 梨菜（おおば りな）、神崎 剛（かんざき ごう） 電話番号：03-3433-1111（内線:3221） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00
----------	--

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。